

研究機関名：東北大学

受付番号： 2010-401

研究課題名

ヒト肺におけるオートファジー不全の研究

研究期間 西暦2010年12月（倫理委員会承認後）～2015年 4月

対象材料

■病理材料（対象臓器名 肺）

□生検材料（対象臓器名)

□血液材料 □遊離細胞 □その他 ()

上記材料の採取期間 西暦2000年 1月～2010年 1月

意義、目的

日本人の癌による死亡において、肺癌は男性で第1位、女性で第3位と、大きな位置を占めています。喫煙や大気汚染、それから高齢化が肺癌増加を招いていると考えられていますが、肺癌細胞の発生、増殖については明らかではないことが多々あります。

そこで、我々は、近年癌細胞増殖への関与が注目されている「オートファジー」という現象が肺癌の発生・増殖に関与しているかを調べることを目的に、本研究を進めています。この研究において、新たな癌化機構が解明されることにより、より有効な抗癌剤の開発や新たな治療開発につながることを期待されます。

この研究では、手術で治療のため摘出された組織のみを使用します。検体は番号で管理され、個人を特定する情報が外部に漏れることはありません。

本研究は、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針（平成20年7月31日改正）」の「第5 試料等の保存および他の機関等の資料等の利用」に基づき行います。

本研究は岩手医科大学との共同研究により実施します。

本研究は、東北大学の実施責任者のグループにより公正に行います。本研究における企業等との利害関係については、東北大学利益相反マネジメント委員会の審査と承認を得ています。また、本研究における企業との利害関係に追加・変更が生じた場合は、その都度、東北大学利益相反マネジメント委員会へ申告し審査を受けることにより、本研究の企業等との利害関係についての公正性を保ちます。

方法

東北大学病院呼吸器外科または仙台厚生病院にて、肺癌に対する手術で摘出された肺組織を用い、免疫染色でオートファジーに関与する蛋白の発現を調べます。

問い合わせ・苦情等の窓口

住所：980-8575 仙台市青葉区星稜町2-1

東北大学大学院医学系研究科先進感染症予防学寄附講座

電話：022-717-7184, FAX：022-717-7576

担当者：東北大学大学院医学系研究科先進感染症予防学寄附講座准教授、医師
久保 裕司（くぼ ひろし）